

新潟県燕市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2024

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- **地方創生の実態や取組に興味のある学生におすすめ。** 燕市内で、地域を盛り上げるために動いている団体・人物から直接、話を聞くことができます。
- 燕市役所を訪問して、行政の役割も実態的に学ぶことができます。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

「地域を盛り上げるために動いている団体・人物」から学ぶ

江戸時代より、まちをあげて金属に関わる製品をつくり続けている燕市。現在、金属洋食器の国内シェアは90%を超え、ノーベル賞の晩餐会やG7で各国首脳へのお土産として燕市製品が採用されるなど、全国トップレベルの金属加工技術を誇ります。そんな「ものづくり」産業が売りの燕市にも様々な地域の課題がありますが、今回は、地域を盛り上げるために動いている団体や人物に焦点を充てて、地域の課題やその対応について実態的に学んでいきます。

燕市の魅力

燕市は新潟県の中心に位置し、上越新幹線の「燕三条駅」は東京から約2時間で到着します。

日本屈指の金属加工品の産地として有名ですが、その他にも、日本さくら名所100選に選ばれる「大河津分水桜並木」は、約10kmにわたり植えられたソメイヨシノが堤防沿いに咲き誇ります。また、江戸時代末期の禅僧であり、詩人・歌人・書家でもあった良寛が晩年を過ごし、その芸術性が円熟期を迎えた地でもあります。車で

30分も走れば海も山も温泉もあり、産業から生まれた「背脂ラーメン」などつばめっこソウルフードめぐりなど休日の過ごし方も様々です。2月は新潟県全域で雪が多く降る時期ですが、燕市は比較的雪の少ない地域であり、程よく雪のある生活、四季を楽しめます。



募集概要

募集期間	2024年10月7日(月)～10月20日(日) 23:59 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程) (学部、専攻、学年問わず)
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出すること、②現地3泊4日の全日程に参加すること。③終了後に期限内にレポート提出すること、以上、3点を確約できる者。
募集人数	6名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加 ③ 終了後にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2024春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2024春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項(志望理由など)を入力して申請
選考方法	書類選考: 結果通知は 2024年11月11日(月)までにWasedaメール にて通知します。 ※ <u>面接選考(オンライン)</u> を実施することがあります。その際は対象者に別途ご案内します。
注意事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。※卒業単位には算入されません ② 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を実施し、それぞれ課題を提出してもらいます。授業の日程については、対象者にご連絡します。また、現地実習終了後に提出レポートがあります。 ③ 2025年2月4日から7日の現地実習は、 現地集合・現地解散で、往復交通費は自己負担 です。 <交通費目安> 東京駅～燕三条駅 片道 9,440円(新幹線/指定席) ④ 参加者が現地で負担する費用は、<u>宿泊3泊で計1,980円</u>のほか、<u>毎回の食費実費</u>です。 <宿泊場所> つばめ産学協創スクエア 住所: 新潟県燕市宮町5番8号 ⑤ 現地での移動は、公益社団法人「つばめいと」様からご支援をいただきます。 ⑥ 現地では、本学教員とつばめいと職員が引率します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 最終日の成果発表会(つばめ産学協創スクエア)で、各自成果をプレゼンテーションしてもらいます。 ⑨ 早稲田大学の学生補償制度(損害補償・賠償責任補償)に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑩ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑪ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑫ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑬ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑭ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹 (motokato@waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部/研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

2025年			
2月4日	火	12:40	燕三条駅 集合、燕三条こうばの窓口見学
		13:30	市役所にて聞き取り調査
		15:00	燕三条地場産業センター、道の駅見学
		17:00	協創スクエアにチェックイン・ふりかえり・夕食
2月5日	水	9:00	燕市産業資料館見学
		10:30	燕市観光協会訪問
		12:30	燕市 宮町商店街「マチトープ」 シマダさん(燕地区) https://www.instagram.com/machitope/
		15:00	つばめまんなか商店街 内山さん(燕地区) https://camp-fire.jp/projects/718988/view
	以後	ふりかえり・夕食	
2月6日	木	9:00	新生会 山田さん(分水地区) https://www.city.tsubame.niigata.jp/material/files/group/15/20220225-2.pdf
		11:00	TokoToko 蓮沼さん(吉田地区) https://www.h-d-f-171001.com/tokotoko/
		午後・夜	プレゼンテーション作成
2月7日	金	10:00	成果報告・意見交換会 (プレゼンテーションと講評・協創スクエア)
		12:00	現地解散(12:39 とき320号)

※天候や訪問先のご都合等によって、変更が生じる場合があります

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。

※プログラム終了のスケジュールの関係で2025年3月卒業予定の方は認定が間に合わない場合がありますのでご注意ください。なお、卒業単位には算入されません。